

証券コード 8462



Future Venture Capital

株 主 通 信

第19期第2四半期

2016年4月1日～2016年9月30日



ベンチャーキャピタルの 新しいビジネスモデルの創造に向けて

代表取締役社長
松本 直人

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第19期第2四半期の活動状況をご報告申し上げます。

2016年に入り基礎収支が崩れ、管理報酬を始めとした安定的な収益により固定的経費を賄えない状態となったことを受け、当第2四半期は赤字着地となりました。一方、この状況は期首の想定から大きく外れたものではなく、今後の飛躍に向けた取り組みを着実に進めております。

中でも数年来種まきに努めてきた地方創生ファンドについては、3つのファンド組成を実現しております(5頁)。事業創造支援の面では、前年に組成したsohatsu1号ファンドは時機悪く解散することとなったものの、同コンセプトのファンド募集を継続するとともに、ディー

ルソースの拡充及び世界へ羽ばたくベンチャーの支援を意図した海外ネットワークの構築に注力しております(6頁)。

また、当第2四半期においては、事業領域の拡大、収益基盤の強化及び既存事業への貢献を目指したM&Aを実施すべく、新株予約権の発行による資金調達を実施しました。早期にクロージングし、市況による影響を受けにくい強固なビジネスモデルを実現すべく取り組んでまいります。

これらの新たな動きをより効果的に表現すべく、イメージを刷新した新ロゴを導入するとともに、Webサイトをリニューアルしております(3-4頁)。ご笑覧いただき、今後も変わらぬ支援をいただけますと幸いにございます。

よろしくお願いいたします。

新事業ミッションと新CIを策定

2016年1月の社長交代を機に、当社は「100年継続企業を創る」という新事業ミッションと新CI、企業ステートメントを策定いたしました。長く継続する企業をつくり出す「想い」を大切にしたい「100年継続企業を創る」ことを事業ミッションとし、これまで培ってきたファンド組成ノウハウをベースに事業ポートフォリオを強化し、経営の安定化を図る活動を展開してまいります。

事業ミッション

100年継続企業を創る

企業ステートメント

私たちの会社は京都の老舗が並ぶ界隈にあります。

そこで感じることは、それは老舗の「のれん」に込められた「想い」です。

その京都にあるからこそ他のVCとは違う

長く継続する企業をつくり出す、

「想い」を大切にしたい事業コンセプト

「100年継続企業を創る」は生まれました。

そのためにフューチャーベンチャーキャピタルは変わります。

さまざまな分野でイノベーションの場をつくります。

「想い」のつまった「のれん」の並ぶ町、京都から。

新しくなったフューチャーベンチャーキャピタルです。

ロゴマーク



ロゴマークの由来は、「のれん」をかたどっており、色は伝統を感じさせる藍色。また本社の所在地である歴史を感じさせるモチーフです。

Webサイトのリニューアル



新CIの導入にあわせ、Webサイトをリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、スマートフォン・タブレット対応をしており、引き続きわかりやすい情報発信を心掛けてまいります。



地方創生ファンドを新たに3ファンド設立



当第2四半期において新設した3ファンドは、いずれも異なる背景から設立したものであり、今後それぞれに同様の事例を創出すべく取り組んでまいります。また、ファンドの投資対象領域は、創業支援のみならず事業承継や事業創造(CSV)へと拡大し、「100年継続企業を創る」お手伝いを広く手掛けてまいります。

京都市スタートアップ支援ファンド

長年にわたる地道な地元での活動の結果として実現したもの。地域経済活性化を目指すパートナーとスクラムを組んで運営。

ふくしま夢の懸け橋ファンド

各地での運用実績を受けて引き合いをいただき設立したもの。

こうべしんきんステップアップファンド

既存の取引先から追加的プロジェクトとしてご要望いただいたもの。

アメリカでの事業展開を加速

全米最高級のスタートアップ集積率※を誇る都市を複数抱える米国コロラド州のベンチャーコミュニティと密接な関係を築いております。今後は日本の事業会社に対しコロラド発スタートアップへの投資機会を、日本のスタートアップに対し新たな資金調達機会を、それぞれに対してノウハウ獲得の機会を提供してまいります。

※2010年におけるスタートアップ数/都市人口 出所:カウフマン財団”High Technology Business Formation and Job Creation in the United States,” August 2013.より

Rockies Venture Club

全米最長の運営歴を誇るエンジェルネットワーク。起業家と投資家のマッチング機会を提供するとともに、Hyper Acceleratorの名称で投資家/起業家の育成事業を手掛ける。

P2Binvestor

ソーシャルレンディングプラットフォームを運営。

Community Funded Enterprises

クラウドファンディングプラットフォームのOEM提供(white label)サービス。

FVC Americas

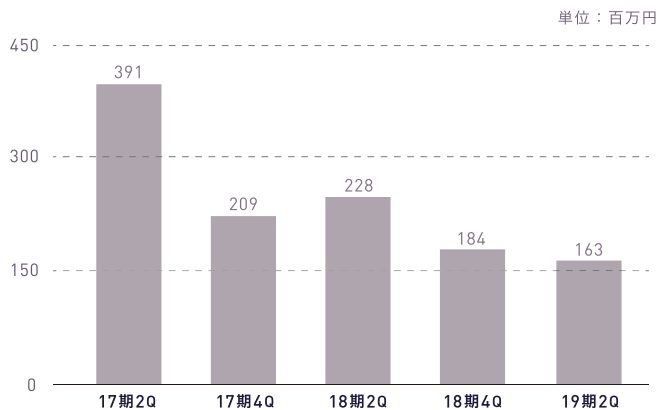


大学の技術移転やスタートアップ向けコンサルティングを主力とするコンサルティングチームを買収し、現地統括子会社に。

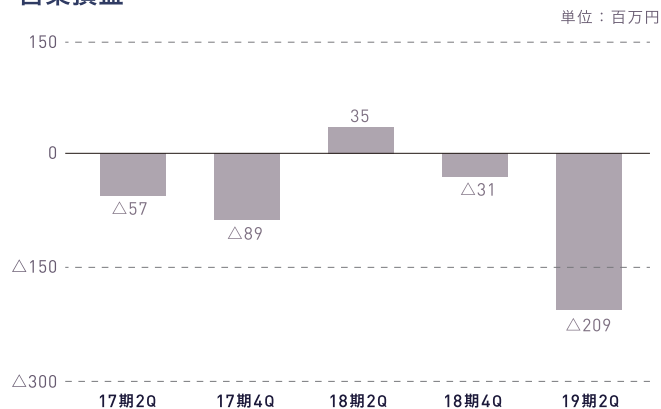
City of Fort Collins

全米No.2のスタートアップ集積率を誇るコロラド第4の都市。日本での自治体連携の実績を評価され、当社と共同声明を発信。

売上高



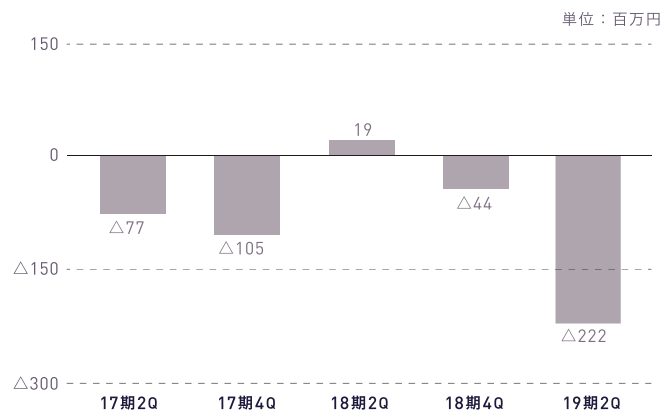
営業損益



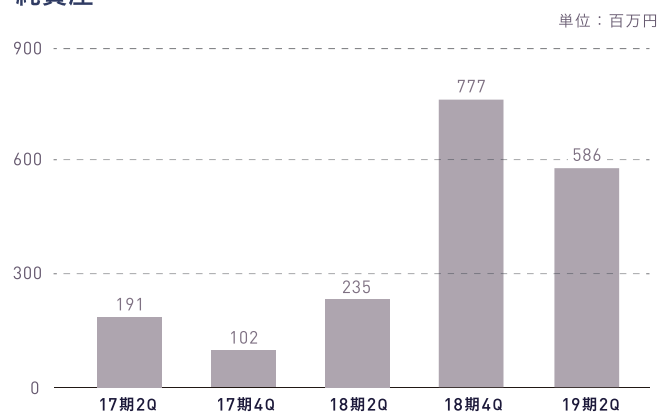
本資料における記載数値について

当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をより的確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載しております。

当期純損益



純資産



ファンド期限の到来に伴い管理報酬が減少し、売上高は163百万円となりました。売上高の減少に加え、営業投資有価証券の売却損益が振るわなかったこと、新規ファンドの組成推進に係る営業経費を増加させたこと等により、営業損失は209百万円、四半期純損失は222百万円となりました。冒頭ごあいさつで申し上げたとおり、安定的収入で固定的経費を賄えない状態が当面続きますが、新規ファンドの組成、営業投資有価証券の売却、M&Aの実現により、早期の黒字化を目指します。

※2016年9月現在

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	8462
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)

2.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店（コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く）にてお取扱いいたします。



**Future
Venture
Capital**

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659番地 烏丸中央ビル
TEL.075-257-2511 FAX.075-211-1601
<https://www.fvc.co.jp/>